

(15)

【社会】

(第3種郵便物認可)

岩手

ふるさとづくり大賞団体表彰

下内野自治会(大東)輝く

2016年度ふるさとづくり大賞

「石磨き大会」など活力

賞を喜んでいる。

マスター・プラン「下内野

勝部会長は「大東町内

に毎年違う学生が訪れて

くれたことも刺激となっ

あふれる地域づくりに取

ふるさとづくり大賞

4WD計画」を策定し、

スがあり、河野教授らと

交流を持てたことが活動

評価されたのでは」と受

者若男女が活力ある地域

づくりを目指して水質保

全意識啓発、地域活性

に、後継者も育てて活動

選ばれた。20年以上にわ

り良くしようと頑張る団

は、全国各地で古里をよ

進んでいるが、高齢なり

の取り組みをするととも

たり住民が一丸となって

体、個人を表彰すること

により、古里づくりへの

などの活動に取り組んで

を続けていきたい」と意

評価されたことなどが

評価されたことなどが

情熱や思いを高め、豊か

で活力ある地域社会の構

き込みを述べた。



毎年8月に開催している石磨き大会
2016年8月7日

表彰式は4日、東京都内で行われ、勝部会長が出席。会場には長年活動に協力している日本大生物資源科学部前学部長の河野英一氏(71)も駆け付けた。

下内野自治会は「かじかの里」をキヤッチフレーズに、地域を流れる砂鉄川の清流化を目指して1996年から毎年8月に「石磨き大会」を開催。99年には地域づくり

築を図ることを目的として毎年実施。都道府県から推薦のあった団体、地方自治体および個人の中から、「ふるさとづくり懇談会」の意見を踏まえ、総務大臣が受賞者を決定する。

「石磨き大会」など活力あふれる地域づくりに取り組んできたことなどが評価され、勝部会長(71)は「少しずつでも継続して取り組んできたことが評価されたのでは」と受け取った。市大東町大原の下内野自治会(勝部欣一会長)が選ばれた。20年以上にわたり住民が一丸となって評価されたのでは」と受

ふるさとづくり大賞を喜んでいる。ふるさとづくり大賞は、全国各地で古里をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰することにより、古里づくりへの情熱や思いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築を図ることを目的として毎年実施。都道府県から推薦のあった団体、地方自治体および個人の中から、「ふるさとづくり懇談会」の意見を踏まえ、総務大臣が受賞者を決定する。

マスター・プラン「下内野

勝部会長は「大東町内に日本大のセミナーハウ

スがあり、河野教授らと交流を持てたことが活動のきっかけ。石磨き大会に毎年違う学生が訪れてくれたことも刺激となつた」と振り返り、「20年以上がたち住民の高齢化も進んでいるが、高齢なりの取り組みをするとともに、後継者も育てて活動を続けていきたい」と意